

学部 / 看護専門領域 / 看護の発展 科目コード：120512 研究方法論 Methodology of Nursing Research					
担当教員	林 一美 松原 勇 大木 秀一 桜井志保美 阿部智恵子 長谷川 昇				
実務経験					
開講年次	3年次後期	単位数	1	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	研究過程、文献検索、研究デザイン				
学習目的・目標	目的：研究の科学的なプロセスを段階を追って学ぶ。また、これらの学習を通して、看護研究の意義や目的を理解する。目標：1. 研究過程（研究課題の発見、研究デザインと研究方法の決定、データの分析、研究結果の解釈と報告）における基本事項を理解する。2. 特定の研究課題に関する文献検索と既存の情報の要約、パソコンによる統計手法を実施することを通して、これらの作業の要点を学ぶ。3. 看護研究の目的がクライアントへの効果的なケアの探求と、看護知識の蓄積であることを理解する。				
授業計画・内容					
回	内容				
	以下の内容について、研究例を紹介しながら講義する。この授業が始まるまでに、図書館でデータベースを使った文献検索の講習（オリエンテーション）を受けておくこと。				
1	看護研究の概念：研究とは、看護研究とは、研究過程の概観、研究課題の選択（林）				
2	研究の理論的枠組み、用語の定義（林）				
3	文献検索と文献検討、概念枠組みと仮説、研究デザイン（林）				
4	研究における倫理的な問題、研究計画書、課題レポート（4年生の発表の参加の案内）（林）				
5	実験研究・準実験研究（松原）				
6	データの収集方法：心理社会的特性の尺度化と尺度の使用、観察法（松原）				
7	質問紙を用いた調査1：対象の選び方、調査票の作り方（大木）				
8	質問紙を用いた調査2：集計・統計解析の方法、結果のまとめ方（大木）				
9	量的データの分析、パソコン演習（松原）				
10	量的データの分析、パソコン演習（松原）				
11	量的な研究方法の種類と特徴・量的データの分析、課題レポート（桜井）				
12	質的な研究方法の種類と特徴・質的データの分析、課題レポート（阿部）				
13	研究結果のまとめかたと発表のしかた（大木）				
14	生化学的な実験（長谷川）				
15	まとめ 2月中旬年次クラスアワー、卒業研究のオリエンテーション ・3月上旬までに学生のグループ分けを終了し、ゼミを開始する。 ・大木先生、松原先生の内容のレポート提出				
教科書	南裕子：看護における研究（日本看護協会出版会）				
参考図書等	石井京子、多尾清子：ナースのための質問紙調査とデータ分析第2版（医学書院） 山崎茂明・六本木淑恵 著；看護研究のための文献検索ガイド（日本看護協会出版会）				
評価指標	レポート100％ 講義の進行にそって、学習成果を問うためのレポート課題を提示します。提出されたレポートの内容に対して評価を行います。（出席は規程どおり2/3以上必要）				
関連科目	卒業研究				
教員から学生へのメッセージ	4年次の卒業研究の前段階になります。研究対象となる看護の現象やそれらをとらえる研究方法は様々です。研究についての基本的事項を学ぶとともに、臨床実習の経験もいかして研究課題の発見につなげていきましょう。将来、発表された研究の賢明な利用者、看護知識の蓄積に寄与する研究者になるための基本を理解しましょう。				